



マイクロンベンチャーズ・ファンドIIが ディープテック・スタートアップに2億ドルの投資枠を設定

May 25, 2022 at 3:00 PM EDT

マイクロンベンチャーズ・ファンドIの成功に基づき運用資産総額は3億ドルに到達

2022年5月25日 - 台湾・台北発 (COMPUTEX) - Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU)は本日、マイクロンのベンチャーキャピタル部門であるマイクロンベンチャーズがファンドIIを通じてディープテック・スタートアップ企業に2億ドルを投資すると発表しました。AIに特化したファンドIの成功に基づくファンドIIは、より広範なディープテックのイノベーションを対象としています。さらに、多様性、平等性、包摂性 (DEI) イニシアチブに対するマイクロンの取り組みを反映し、新たなファンドIIでは投資資金の20%について女性や過小評価グループ (underrepresented group) が率いるスタートアップ企業を対象としています。

マイクロンベンチャーズは、創設以来25社に投資しており、その中から強い財政基盤を持つ複数のユニコーン企業が現れてきています。マイクロンベンチャーズは、AI支援製造、エッジセキュリティ、自動運転車の開発など、幅広い技術革新を加速させてきました。さらに、ファンドIの資金の25%は、過小評価グループが率いるスタートアップ企業に投資されており、マイクロンの当初の目標である20%を上回っています。マイクロンベンチャーズは、マイクロンのサステナビリティ・イニシアチブをさらに加速させる可能性のある、新しいグリーンテクノロジーを提供する革新的な企業にも投資しています。

マイクロンの経営企画担当バイスプレジデントのルネー・ハートナーは「未来は、世界が抱える喫緊の課題への対処を目指した多様なアイデアから創造されます。ディープテック・スタートアップ企業に資金を提供することで、イノベーションを推進し、マイクロンの新しいビジネスチャンスへの扉を開くことができます」と述べています。

マイクロンはまた、イノベーターと提携して、市場での成功を加速するためのサポートとインフラストラクチャを提供しています。予想される将来の経済的利益に加えて、マイクロンは、製造コストを削減するAIテクノロジーの採用の加速、クラウドサービスプロバイダーとのグローバルな市場参入機能の向上、グローバルな自動車のバリューチェーン内での関係のさらなる強化など、すでに複数の戦略的メリットを獲得しています。

マルチスケール社の共同創業者兼最高経営責任者 (CEO) であるヴァス・カリディンディ氏は「マイクロンは、材料の発見と製造プロセスの最適化というマルチスケール社のビジョンの実現を直接的にサポートしてくれています。マイクロンとのコラボレーションにより、材料革新のための先進的なプラットフォームを構築することができました。マイクロンの実際のユースケースの活用により、早期の段階で失敗を見つけ、軌道修正を図り、効果的な戦略を迅速に特定することができ、これらすべてが、学習プロセスの短縮化に役立ちました」と述べています。

イテラティブ・スコープ社の創業者兼最高経営責任者 (CEO) であるジョナサン・ング氏は「マイクロンは、コロナ禍での混乱により私たちが困難を経験した際にも、大いに支援してくれました。ファンドIIにより、それぞれの分野で画期的なイノベーションの創出に注力している私たちのような企業にとって、マイクロンは素晴らしいパートナーであることが改めてわかりました」と述べています。

アーリーステージでの株式投資は、マイクロンのイノベーション戦略の重要な要素であり、主要な市場やエコシステムに関する見識を深めるだけでなく、すべての人々に向けて公平性、サステナビリティ、そして良い結果を推進するという会社のミッションに合致しています。強いビジョンを持ち、科学技術を通じて現状に挑戦しようとするスタートアップ企業の創業者やリーダーに向けてマイクロンベンチャーズの[詳しい情報](#) (英文)を紹介しています。

Micron Technology, Inc.について

マイクロンは、情報活用のあり方を変革し、すべての人々の生活を豊かにするために、革新的なメモリおよびストレージソリューションを提供するリーディングカンパニーです。顧客第一主義を貫き、テクノロジーの最前線でリーダーシップを発揮し続け、洗練された製造技術と事業運営を妥協なく追求するマイクロンの製品ポートフォリオは、DRAM、NAND、NORの各種メモリからストレージ製品まで多岐にわたり、Micron[®]またはCrucial[®]のブランドを冠した高性能な製品を多数展開しています。マイクロンで生まれた数々のイノベーションは、データの活用を加速すると同時に、人工知能や5Gといった最先端分野の進歩の基盤として、データセンターからインテリジェントエッジ、さらにはクライアントコンピューターとモバイルをまたいだユーザーエクスペリエンスまで、さまざまな事業機会を新たに生み出し続けています。Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU)に関する詳細は、[micron.com](https://www.micron.com)をご覧ください。

©2022 Micron Technology, Inc. All rights reserved. 情報、製品および仕様は予告なく変更される場合があります。マイクロン、マイクロンのロゴ、およびその他のすべてのマイクロンの商標はMicron Technology, Inc.に帰属します。他のすべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。